

PDMOVIE

REMOTE LIVE 2

PDL-F (1 モーターモデル)

PDL-FZ (2 モーターモデル)

PDL-FZI (3 モーターモデル)

取扱説明書

同梱品

PDL-F (1 モーターモデル)	PDL-FZ (2 モーターモデル)	PDL-FZI (3 モーターモデル)
ハンドルコントロールユニット(PDL-T1)	ハンドルコントロールユニット(PDL-T2)	ハンドルコントロールユニット(PDL-T1)
スレーブモーター	スレーブモーター x 2	ハンドルコントロールユニット(PDL-T2)
D-Tap 電源ケーブル	D-Tap 電源ケーブル	スレーブモーター x 3
モータードライブケーブル(1m)	モータードライブケーブル(1m)	D-Tap 電源ケーブル(デュアルタイプ)
15mm-19mm アダプターリング	モータードライブケーブル(0.5m)	モータードライブケーブル(1m) x 2
	15mm-19mm アダプターリング x 2	モータードライブケーブル(0.3m)
		15mm-19mm アダプターリング x 3

*当取扱説明書では

①PDL-T1 でフォーカスの操作インジケータランプを赤と見なして説明しています

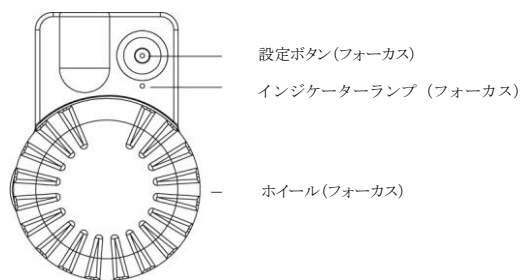
②PDL-T2 でフォーカスとズームの操作インジケータランプをフォーカス(赤)、ズーム(緑)と見なして説明しています

Web:www.pdmovie.com

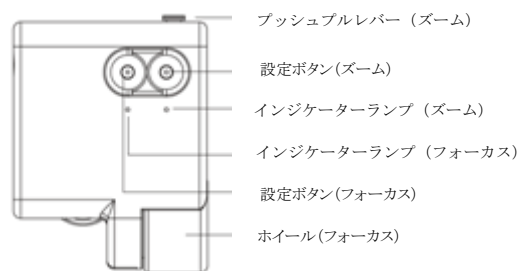
©2016 PDMOVIE All rights reserved.

コントローラーの取り付け

各部名称



PDL-T1 シングルチャンネルコントローラー

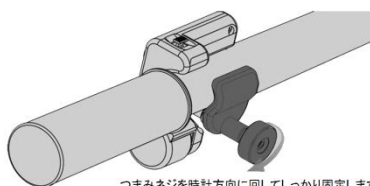


PDL-T2 デュアルチャンネルコントローラー

直径 15mm～30mm のロッドにコントローラーPDL-T1、PDL-T2 を取り付けすることができます



つまみネジを反時計方向に回して緩めます。



つまみネジを時計方向に回してしっかり固定します。

モーターの取り付け

モーターは直径 19mm または 15mm のロッドに取り付けることができます。

15mm のロッドに使用する場合はアダプターリングを使用してください

- ①取り付けブラケットのつまみネジを緩め、モーターを任意のロッドにスライドさせます

(取り付けブラケットの位置はモーターとレンズの位置を考慮して反転させて取り付けることも可能です)

- ②モーターのギアをレンズのギアに合わせ、つまみネジを回してしっかりと固定します

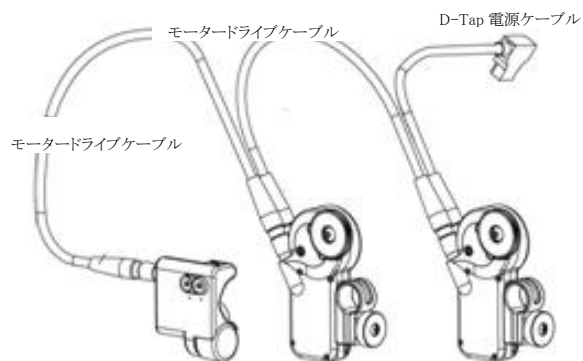
* モーターは、ギア付きレンズで使用できます。ギアなしのレンズには、モーターとの吻合を可能にするギアリングが必要です



コントローラーとモーターの接続

- ①PDL-T1 は、スレーブモーターとコントローラーをモータードライブケーブルで接続します。D-Tap 電源ケーブルをモーターに接続し電源を供給します

- ②PDL-T2 は、2 つのモーターをモータードライブケーブルで接続し、コントローラーとモーターの1つをモータードライブケーブルで接続します。別のモーターに D-Tap 電源ケーブルを接続し電源供給します



PDL-T2 接続イメージ

モーターの電源を入れる

- ①インジケータランプ点灯するまで、モーターの底面のボタンを約 2 秒間押してください
- ②複数のモーターを同時に始動させる場合は、電源はそれぞれ入れる必要があります
- ③モーターのインジケータが赤く点灯していることを確認してください。2 つの場合は、フォーカス用のモーターのインジケータランプが赤、ズーム用のモーターのインジケータランプが緑に点灯していることを確認してください

レンズストロークを検出する

PDL-T1 と PDL-T2 コントローラーは、D-Tap 電源ケーブルからの電源供給で自動的に起動します。

- ①ギアとレンズがしっかり固定されていることを確認してください
- ②PDL-T1、PDL-T2 の設定ボタンを 3 秒間押してレンズストロークを検出することができます
- ③この間、接続されているモーターは同時に自動回転します

レンズストロークを手動で検出する

ギアの開始終了が自動で検出できないレンズではレンズストロークを手動で設定します。

- ①ギアとレンズがしっかり固定されていることを確認してください
- ②モーターの電源を入れます。レンズギアを回し開始位置まで移動し、ギアの動きを止めます
- ③再度レンズギアを手動回し、終了位置に移動し、ギアの動きを止めます
- ④③で回した方向とは逆方向に少しギアを動かします(その時ギアがしっかり噛むような動きをします)

コントローラーの操作

コントローラーのホイールを旋回、プッシュプルレバーを動かすと、フォーカスとズームの制御や絞りの調整ができます

- ①PDL-T1 は、赤色をコントローラーとモーターのインジケータに点灯させることを推奨します
- ②PDL-T2 は、コントローラー左側とフォーカス用のモーターのインジケータランプを赤色に、コントローラーの右側とズーム用モーターのインジケータランプを緑に点灯させることを推奨します
- ③PDL-T1 と PDL-T2 を同時に使用するような場面では、PDL-T1 はフォーカスコントローラーで赤点灯に、PDL-T2 のフォーカス設定ボタン側を青点灯でアイリスコントロールに使用、ズームコントロールは緑点灯でコントロールするように設定します。

コントローラーのボタンインターフェイス

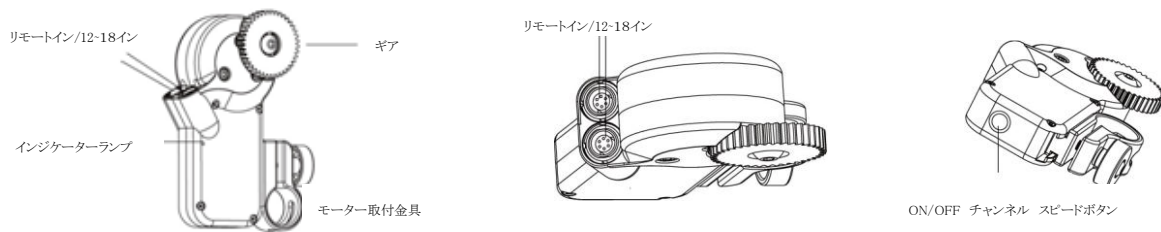
ボタン	機能	動作	
設定ボタン	レンズストローク自動検出 (キャリブレーション機能)	ボタンを 3 秒間押し続けると、レンズストロークが検出されます。 レンズの可動範囲をモーターが自動検出します。	
	ストロークを手動で設定する (A/ B ポイント)	セット	ボタンを 1 回押して A 点を設定します。ホイールもしくはプルプッシュレバーを動かして、改めてボタンを押して B 点を設定します。
		取消	ボタンを 1 回押すと AB 点を無効にします。
	制御チャンネル切り替え	ボタンを 2 回短く押して制御チャンネルを切り替えます (インジケータの色が切り替わります)	
	モーターの回転速度調節	ボタンを 5 回押すと、モーターの回転速度の調整ができます。(インジケータランプが緑色のとき、ズームチャンネルでのみ動作します)。PDL-T2 の設定ボタン(ズーム)のみ有効です。	
	モーターの回転方向の切り替え	ボタンを 7 回押すとモーターの回転が切り替わります (レンズの回転方向が切り替わります)	

*リモート電源コネクタ部 12-18V

電源を供給し信号伝送を制御する 6 ピンソケットは、12～18V の電圧供給をサポートします。コントローラーとモーターの両方にこのソケットがあります。

モーター

各部名称



モーターのボタン機能

ボタン	機能
ON/OFF	スタートアップ: インジケータランプが点灯するまでボタンを2秒間押し続けます。
チャンネル	シャットダウン: インジケータランプが消灯するまで、ボタンを4~5秒間押し続けます。
スピード	モーターの回転速度の切り替えと制御チャンネルの切り替え

モーター回転速度切り換え操作

ボタン操作	モータースピード	LED 点滅
5 回押す ●●●●●	高速(高トルク)	速い点滅
	中程度(フォーカスに中程度のトルクが推奨されます)	遅い点滅
	遅い(トルクが小さい、ズームにはお勧めです)	点灯

コントローラーとモーターチャンネル切換テーブル

ボタン操作	コントローラー	インジケータランプの色	操作推奨チャンネル設定
2 回押す ●●	R1	赤	フォーカス
	G2	緑	ズーム
	B3	青	アイリス
3 回押す ●●●	Y4	黄色	無効
	C5	シアン	無効
	P6	紫	無効

※黄色、シアン、紫チャンネルは現動作しません

インジケータランプは赤→緑→青(黄色→シアン→紫)の順に切り替わります

対応するモーターとコントローラーのインジケータランプの色を一致させることでコントローラーでの制御が可能です